



RI 第 2 6 1 0 地区

井波庄川ロータリークラブ会報

2008-09年度 No.19 11月12日発行

事務局 〒932-0211 富山県砺波市庄川町示野 121 リプロ内

TEL&FAX 0763-82-4318、[inashorc@athena.ocn.ne.jp](mailto:inashorc@athena.ocn.ne.jp)

2008-09年度 会長 小西 勝、幹事 高瀬 顕正

2008-09年度 RI テーマ



「夢をかたちに」

(李東建会長)

### ① 「2008年いい歯の日キャンペーン」

### ② 例会記録



福野、アミュー・ショッピングでの「2008年いい歯の日キャンペーン」

## ① 「2008年いい歯の日キャンペーン」

今年の11月8日(土)の「いい歯の日キャンペーン」は、午後0時半から1時間、過去2回実施したことのある、アミューショッピングの正面入口で開催いたしました。フッ化物配合歯磨剤などを扱っているライオン・ビーブランド・ゾネボード製薬の各メーカーから協賛頂き、提供いただいた歯磨剤サンプルや歯ブラシ・パンフレットを、アンケート回答者にプレゼントいたしました。また、井波庄川ロータリークラブからは、ペットボトルの、ミネラルウォーターや緑茶を100本用意し、プレゼントしました。

3問聞き取り方式のアンケートでしたが、119名から、回答を頂き、そのうち男性18名、女性101名、50歳以上が70名と約6割を占めました。第1問の「フッ素のむし歯予防効果」については、知っている人が105名(88.2%)でしたが、「水道水フッロリデーション」については、26名(21.8%)、「食べ物のフッ素」については、55名(46.2%)でした。この結果、水道水フッロリデーションについては、もっと繰り返しPRをしていく必要性を感じました。



## ②第1449回夜間例会

平成20年11月12日(水) 井波文化センター

1. 点鐘 小西会長
2. 君が代斉唱
3. ソング「奉仕の理想」
4. ゲスト卓話：小西竹文氏（砺波市美術館館長）；紹介者・横山幹会員
5. ビジター：河合映浩君（南砺RC）
6. 月結婚記念日：高瀬会員（4日）横川会員（5日）米道会員（6日）福嶋会員（14日）横山豊介会員（23日）



7. 会長の時間…「今日は卓話で、小西館長さん、またビジターの河合さん、ようこそ。先々週は秋の家族旅行、先週はいい歯の日キャンペーンと、参加頂き有難うございました。今週末は地区大会ですが、よろしく願います。今日は秋晴れ、雲ひとつ無くまさに『天高く、馬肥ゆる秋』です。選挙真っ盛り、福野地区は良かったですね。井波地区は、当クラブ会員のうち、現職の浅田さんのほか、新人で助田さんが立候補され、大変激戦となっています。お二人とも当選していただきたいと願っております。市長選も大変ですが、先日、瑞泉寺の清都さんの決起大会で、1100名も集まり、本堂の床が沈みました。幸いけが人もなく、古い建築で、梁が腐食していたようです。修繕には相当費用がかかりそうです。」
8. 幹事報告…「日曜の地区大会は8名出席予定です。ジャンボタクシーで、井波8時半、出発予定です。昼の街なかランチは、第一ホテル『松川』を予約してあります。帰り、懇親会があります。」
9. 委員会報告…①社会奉仕「いい歯の日キャンペー

ン」(山本会員)：11月8日はご多忙中大勢出席有難うございました。アミューのレストラン「筑子」の食事はいかがでしたか。アンケートの回答者は集計中ですが、100本用意したペットボトルが終盤なくなりましたので120名近くになると思います②出席委員会(代理)：25名中14名出席(出席免除者7名中4名出席)・・・出席率63.64%

10. **ニコニコBOX**(高瀬 SAA 代理：本日 8名 10,000円)

小西会長：小西館長さん、ようこそ。木村さん写真感謝。

河合映浩氏：福光にいけない日の、メイキャップです。

河合副会長：福野選挙区、無風で大助かりです。

三谷会員：小西館長さんようこそ。浅田さんが立候補、よろしく。(後援会長です)

横山豊介会員：結婚祝お礼、51年目です。

福嶋会員：結婚祝に感謝。

高瀬会員：結婚祝に感謝。

山本会員：「いい歯の日キャンペーン」お礼。

(11月計 10,000円：年度累計 181,000円)

## ゲスト卓話「となみ野の美術」

小西竹文氏(砺波市美術館長)



**小西館長**：この井波庄川ロータリークラブには、当美術館に縁のある方がたくさんおられます。特に横山豊介先生には、お世話になりました。本日は、「となみ野の美術」と題して話をさせていただきます。

① 美術館はなぜあるの

\* 「感性」と「情緒」を育てる・・・一人一

人、個性があり、美術作品に対する感じ方や考え方が異なる。美術館は、自分で作品をよく見て、よく考えて、生きていくための最も必要な「感性」と「情緒」を育む生涯教育施設です。特に、子供の場合は相手の立場を考える思いやりを育てるのに役立ちます。

\* 文化は風土に根付いたもの・・・砺波地方は県内にあっても独自の文化圏として今日に至っている。扇状地にあり、世界的にも珍しい散村形態の平野で、江戸時代は加賀藩の領地であり、金沢の文化圏。しかも、和菓子や木彫・漆工芸や曳山祭りの形式を見れば京都文化圏の果ての地です。

\* 砺波市美術館ができるまで・・・1982年文化会館で43作家の「となみ野美術展」開始、1988年、アトスペース砺波で91作家で実施、1997年(平成9年)砺波市美術館が完成、116作家が作品を展示。

## ② となみ野の美術作家たち

\* 彩彫会で作家を育てた人たち・・・川辺外二、永原廣。

\* となみ野美術展を支えた人たち・・・津山昌(美術評論)、斉藤清策(日本画)、林清納(洋画)、横山豊介(彫刻)、横山一夢(初代:工芸)、常川汀華(書)、南部栄(写真)

## ③ 美術館がめざすもの

\* 美術館の仕事・・・美術のⅠ調査研究、Ⅱ収集保存、Ⅲ企画展示、Ⅳ教育普及

\* 市内の幼稚園・保育園の年長児から小学校低学年までを対象に、素材体験に重点を置いた子供の造形アトリエを行っています。粘土、絵具、ダンボールをふんだんに使いすきにやらせる。美術館探検をやらせる。そして作品の鑑賞をさせる。10年後に高校生になったら、アルバイトをさせる。これが、将来20年後には恋人と、30年後には家族を連れて美術館を訪れてほしいという願いを込めて。サポーター作りです。

\* 砺波市美術館は、チューリップフェア会場

にあることを生かした運営をめざしたい。

「さあ、いらっしやい」…気取らずに誰でも入れる美術館に。「ようこそ、ようこそ」…美術館はもてなしの心が大切。「また来てね」…美術館のリピーターを増やす。

\* 砺波広域圏は1つ、全く同じ文化圏を持っています。早く一緒になればいいですね。

(プリント配布あり)

## 【編集後記】

今回の第19号は、「いい歯の日キャンペーン」を一緒に組みました。ショッピングセンターで、始めた活動でしたが、マーシ園や保育園などの施設におもむいたりして、広がりを見せましたが、今回は、原点に帰ってみました。すると、しばらく啓蒙活動をやめると、フッ化物に対する認識が薄れるのか、前ほど理解している人が多くないように感じられました。選挙期間なので、興味が薄かったのかもしれませんが。

選挙と言えば、当クラブから、南砺市議会へ現職の浅田裕二会員、新人の助田幸雄会員がめでたく当選されました。おめでとうございます。しかし、残念ながら、元会員の前南砺市副市長の清都邦夫さんが、市長選で破れました。8町村合併4年後の舵取り役として、大いに期待されていただけに、ほんとに悔しい限りです。

また、砺波市美術館長の小西竹文さんには、身近な美術の意義を解説していただき、わかりやすかったです。旅行者が、美術館に立ち寄るような時代が、この砺波野にもやってくることを期待しています。パリのルーブル、フィレンツェのウフィツェのように・・・

【訂正】第1449回例会で、間違えて横川会員の結婚記念日が山本となっております。小生も、記念品をもらって写真を写され、テーブルに帰って初めて気がつきました。そういえば先月もらったと。確認して事務局の間違いに気がつきました。そのうち、気がつかなくなるかもしれませんね。くわばら、くわばら。

(山本武夫)